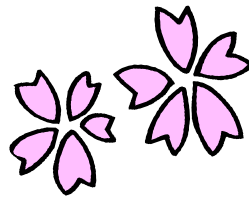


Topic 1

◇ 合格体験記 後輩への応援メッセージ

松本 葵さん

- 合格大学：東京学芸大学 教育学部 国語専攻
- 学校名：私立文華女子高校
- 校舎名：ひばりが丘校



● 合格を手にしたの感想

合格通知が届いた時は涙が出るほど嬉しかったです。公募推薦を受けると決めてから、受験校に関する資料を集め、面接や小論文の練習もしました。また、塾の先生にも色々相談に乗っていただき、とても感謝しています。合格者定員が少なく、受かる自信がなかったのですが、塾の先生に励ましの言葉をかけてもらい、本番もリラックスして臨めました。これまでの努力が実り、達成感を感じています。

● 将来の夢や目標は？

将来は国語教師の道へ進もうと考えています。幼い頃からのぼんやりとした夢だったのですが、進路を考えていく過程で、やはり教員を目指したいのだと強く意識するようになりました。小学校・中学校・高校と素晴らしい先生方に恵まれ、そういった先生方と触れ合う中で教師という仕事が非常に魅力的に思われました。生徒と向き合い、親身になって生徒の心に寄り添う姿がとても印象的で、自分も教師になって子どもたちの支えになれるような存在になりたいと感じ、教師を目指すことにしました。

● 大学・学部を選んだきっかけは？

東京学芸大学を選んだ理由は、第一に教員養成のための学部があるからです。他大学とは違い、教員養成に特化した学部があり、より専門性の高い授業を受けることができると考えました。加えて、教育実習が2度あることにも魅力を感じました。実践的経験を踏まえて教職を知ることができるのはとても良い機会だと思います。教師を目指すのにぴったりの大学だという印象を受け、この大学に決めました。

● 俊英館に通塾して良かったところは？

映像授業を受講していたので終始自分のペースで勉強を進めることができ、また先生が時折進み具合や理解度を確認してくださって、スムーズに授業を進められました。

私は数学が嫌いだったのですが、城能先生の授業がとても分かりやすく、楽しかったです。また、現代文の児玉先生の授業も面白かったです。その上、文章の読み方だけでなく、その文を支えている時代背景まで懇切丁寧な解説がされていて、受講しているうちに自分の国語力が伸びていくのが実感できました。模試でも速読ができるようになり、苦手だった小説もだんだん点が上がっていきました。

● 後輩へのアドバイス

1・2年生のうちに、何よりもコツコツと英単語の知識を増やす努力をするべきだと思います。英語はどの学部にも必要な科目ですので、最優先で力を入れましょう。私は高3になってあわてて覚えはじめたのでとても苦労しました。公募推薦で受かったので幸い学科試験は免除されましたが、大学入学後の学習を考えると、まだまだ自分の知っている単語数が少ないので引き続き覚える努力をしていきたいと思っています。受験勉強で大変かもしれませんが、学校での勉強も怠りがないように心がけると良いと思います。私は、朝登校してきてから20分目安の長文問題を解いたり、英単語を見たりしていました。授業は普通に受け、宿題が出たらなるべく学校で終わらせました（塾の予習復習等に時間を多く使いたかったので）。学校の定期試験のために勉強するのではなく、受験勉強の力だめしとして定期試験があるという心持ちで学習を進めると良いかもしれません。

成績を上げる秘訣は特にありませんが、出題傾向の模索、自分の苦手なところの明確な把握は必要だと思います。また、映像授業を受けるにあたり、毎回自分で目標を設定してから受講すると、より効果的です。映像授業は自分で分からなかったところを聴き直したり止めたりできるというメリットがあります。また、「自分のペースで」進めるものですから、後で詰め込むことにならないように学習の計画を立てるようになるので、自然と自己管理の習慣が身につくと思います。入試が迫ってくるにつれて焦る気持ちもあると思いますが、あわてずにやるべきことに優先順位をつけて頑張ってください。

石川 晃さん

■合格大学：東京電機大学 未来工学部ロボット・メカトロニクス学科

■学校名：日本工業大学駒場高校 ■校舎名：光が丘校



● 大学・学部を選んだきっかけは？

昔からの夢でロボットを作るというのがあったので、大学では人工筋肉を利用したロボットを作りたいと思っています。

東京電機大学では、人工筋肉の研究ができ、自分の学力にも合っていると感じました。また、自分の研究したい分野の設備が充実しているので、選びました。

● 俊英館に通塾して良かったところは？

ウェブ授業は部活で忙しいときでも自由に学習することができ、遅れた場合でもすぐに取り戻すことができるのが魅力的でした。また、テスト前でも忘れてしまった所やどうしても分からない所をもう一度確認できるので、とても役立ちました。

● 後輩へのアドバイス

1・2年のうちに中途半端に勉強しようとする、勉強も部活も中途半端となり、味気ない高校生活になりかねません。しかし、メリハリをつけてテスト前だけは勉強に打ちこむべきだと考えます。

参考書やテキストを新しく買う必要はありません。授業で取ったノート、学校でもらったワークとウェブ授業で、定期テストで十分良い点数が取れます。



Topic2

◇ 2016年度センター試験 英語分析

去る1月16日(土)、17日(日)に大学入試センター試験が行われました。高2・高1の皆さんもぜひセンターの問題を解いてみましょう。1年後には点数が2割伸びると言われます。現在の得点の2割増が受験期の「現実的な点数」であれば、自分がどのくらい頑張る必要があるのかが分かります。

◇大問2は「語法」で差がつく。教科書文法レベルの重要例文を丸ごと暗記！

【2016年度 第2問A 問5】

Before the movie begins, please () your mobile phone is switched off.

(映画が始まる前に、どうか携帯電話の電源を切ることを〇〇ください。)

1.keep(ずっと～する) 2.make sure(確認する) 3.never fail(忘れない) 4.remind(思い出させる)

正解は2です。

単語の訳からは判断できません。「make sure は that 節を目的語にとる」という語法の知識が必要です。単語の訳だけを覚えていても得点できない問題がセンター試験に限らず多く出題されます。教科書文法レベルの重要例文は丸暗記するつもりで、単語力をつけていきましょう。

◇英単語数がこの10年で2倍！

センター試験英語の単語総数(繰り返し出てくる単語もそれぞれカウント)は、2004年度が3141語だったのが、2009年度5567語、2014年度6067語と増加傾向にあります(10年前のほぼ倍!)。試験時間は80分で変わっていないのに、文章量が増えているので、スピーディーに読む(英単語の意味が反射的に出てくる)力を養成する必要があります。英単語の種類は2014年度で1860語。冠詞のtheや前置詞、固有名詞なども1語とカウントしているため、実質は1500語程度を覚えておけば解答できることとなります。

◇時間配分が得点を左右する！ 単語の意味を瞬時にイメージ！

時間を十分かければ満点が取れるレベルの人でさえも試験時間80分で解き切るとなると、得点率がぐっと下がってしまいます。長文にかける時間を多くとるための即断力を養成しましょう。単語の意味を瞬時的に想起できることが解答スピードアップには不可欠です。

1 大学入試改革 新テスト まず国語と数学で記述式

大学入試の抜本的な改革を目指している文部科学省は、12月22日に開かれた有識者会議で、2020年度から新たに実施する大学入試センター試験に代わる「大学入学希望者学力評価テスト」のイメージを示しました。文章やグラフを読み解いて自分の考えを書く問題となっていて、こうした記述式をまずは国語と数学に盛り込む方向で検討を進めるとしている。

新たなテストではマークシート方式に加えて記述式の問題を導入することや、英語で「聞く・話す・読む・書く」の4つの技能を測ることが検討されていて、22日の会議で問題のイメージが示された。

このうち記述式は文章やグラフを読み解いて自分の考えを決められた字数で書いたり、数式を導き出したりする内容となっていて、まずは、高校の必修科目の「国語総合」と「数学」のテストに取り入れていきたいとしている。

また、記述式は採点に時間も人もかかることからマークシート方式と分離して別の日程で行うことや、民間との連携を進めることなども提案された。

2 早稲田大学 入試改革 新制度でAO重視

早稲田大は12月2日、入学試験改革の概要を発表した。大学入試センター試験のみで合否を判定する形式や、地域で活躍できる人材を発掘する新試験を導入。書類や面接などで選考するアドミッション・オフィス(AO)入試も従来以上に重視し、30年間で約10%減ったという関東圏以外からの学生を増やして、多様な人材を確保したいとしている。

18年度入試から、複数の学部で「地域貢献型人材発掘入試(仮称)」を始める。地域が抱える問題を解決したいという意欲を持つ学生を獲得するのが目的で、センター試験や書類選考を組み合わせた学力型AO入試とし、全都道府県からの受け入れが目標。対象学部や試験方法など詳細は検討中で、来年4月以降に発表する。

文化構想学部と文学部では、16年度入試からセンター試験だけで選抜する方式を導入し、地方の受験生が東京まで来なくて済むようにするほか、17年度入試から英語の4技能「読む・聞く・書く・話す」をみる英検などの資格・検定試験を活用した方式も取り入れる。人間科学部では17年度入試から、国語と理科の成績を重視する公募製の学校推薦入試を始める予定である。



3 国立大学の授業料 15年後は93万円に

一部報道により国立大学の授業料について、文部科学省が2031(平成43)年度には年間約93万円に上るとの試算を示したとして、保護者の関心を集めている。財務省の長期試算をもとにすると、国立大授業料は毎年2万5千円程度、15年後には約40万円増になるという。

財務省では、安定的な国立大学法人運営のためとして、2031年度まで運営費交付金を毎年1%削減し、自己収入を毎年1.6%増加させ、運営費交付金への依存と自己収入を同じ割合とする長期試算を提示している。

国立大学の授業料は、平成27年度標準額で年額53万5,800円。国立大学の自己収入増を授業料値上げで補填すると、毎年2万5,000円程度、15年後には約40万円増の約93万円に上るという。

これに対して、「学費が安いことも国立大学の魅力の一つ。苦学生は勉強する時間がなくなってしまう」、「地方国立と東京の有名私立を比べて、地方国立の魅力が下がってしまうため、地方創生の方針と逆行している」などの批判の声が挙がっている。



日本学生支援機構のシステムをきっちり押さえておこう！

日本学生支援機構(以下、同機構)の奨学金のタイプは2つある。卒業後、返還するに当たって利息がつかない「第一種」と、利息がつく「第二種」だ。第二種の利息は、上限が年利3%と決められているが、実際は年利1%前後と低く設定されている。

この他に、「入学時特別増額貸与奨学金」という制度もある。入学時のまとまった出費を補うことを目的としたもので、貸与額は10万円から50万円まで、10万円刻みで選ぶことができる。ただし、利用できるのは「国の教育ローン」に申し込んだが、融資を受けられなかった人に限られるなどの制限があり、また実際に銀行口座に振り込まれるのは入学後なので、注意が必要である。

また、申し込む時期によって、3タイプに分かれる。①現在、高校生もしくは浪人生で、来春の大学進学を想定して申し込む「予約採用」、②大学に進学した後、すぐに申し込む「在学採用」、③大学在学中に家計が急変して緊急に申し込む「緊急採用・応急採用」。

無利子タイプを利用したい人は高校の窓口で申し込もう！

申し込みをする際、窓口は、自分がその時点で在籍する学校となる。つまり、来春の進学後に奨学金の貸与を受けたいと現時点で考えた場合は、在籍する高校を通して申し込むことになる。浪人生(2浪まで)の場合は、卒業した高校で申し込む。

予約採用の募集期間は、第一種と第二種で異なる。高校によって多少の差はあるが、第一種はおおむね4~7月上旬頃、第二種は4月~翌年1月中旬頃までとなっている。第一種の募集は早めに終わってしまうので、利用を希望する人は募集が始まる前に高校の窓口で確認しよう。

もし、高校で応募できなかったとしてもあきらめることはない。志望大学に合格したら、4月にその大学でも募集があるので、そちらに申し込めばよい。

いずれにしても、必要書類を窓口に提出した後は、自分で同機構のホームページから必要事項を入力しなければならない。その後、審査があり、採用通知を待つことになる。

進路が決まっていなくてもとりあえず申し込んでおこう！

予約採用の場合、「まだ進学先が決まっていないのに?」「進学するか就職するか迷っているけど...」「浪人したらどうなるの?」といった疑問があるかもしれない。

申し込みをしたいと考えているなら、進学先が確定していなくても問題はない。申し込んで採用された後、さまざまな事情から辞退したとしてもペナルティはない。

第一種・第二種に申し込む際、同機構では、各家庭の収入の上限や、学力の基準などを設定している。第一種の応募条件は、利息がつかない分、第二種より厳しい。また、第一種・第二種の両方を利用することもできるが、その場合の条件はさらに厳しくなる。

日本学生支援機構の奨学金制度

| | |
|-------------|---|
| 種類は? | 1. 第一種(利子なし)&第二種(利子あり) 2. 第一種と第二種の両方の利用もできる。 3. 第一種・第二種に加えて「入学時特別増額貸与奨学金」 |
| いつ申し込む? | (予約採用) ● 入学前に申し込むタイプ。進学する前年度に募集。 |
| | (在学採用) ● 入学後に申し込むタイプ。毎年春、入学した学校で募集。 |
| | (緊急採用・応急採用) ● 在学中、緊急に申し込むタイプ。 |
| 申し込むための条件は? | 高卒後、大学・短大・専門学校(専修学校専門過程)に進学を予定している人で、日本学生支援機構が定める条件を満たした人。 |

